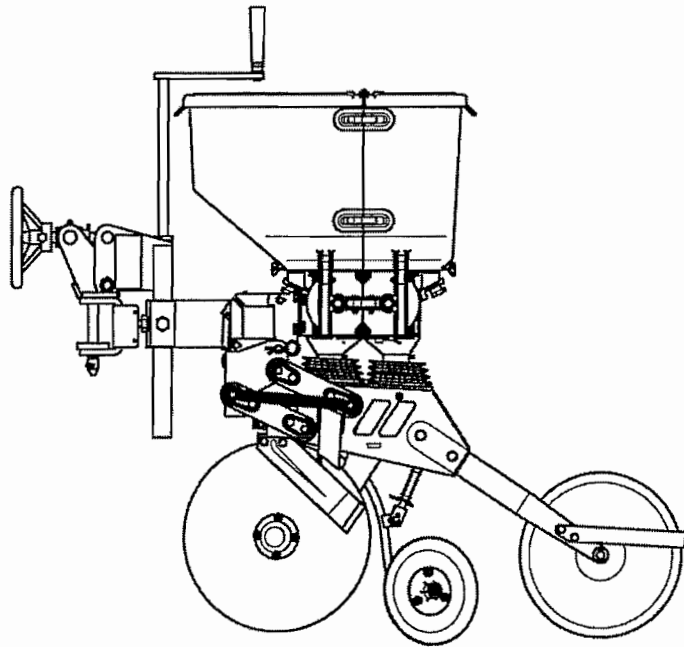


ロータリシーダ
単独鎮圧タイプ

取扱説明書



ご使用前に必ずお読み下さい

この取扱説明書は、安全に作業していただくために正しい
取扱い方法と注意事項が書かれています。

お読みになった後も必ず製品の近くに保存して下さい

松山株式会社

はじめに

お使いになる前に、本書および取扱説明書を必ずお読みください

このたびは、**ロータリシーダ**をお買い上げ頂きありがとうございました。
本書は安全に作業していただくための注意事項について記載しています。また、取扱説明書は本機の取扱方法と使用上の注意事項について記載しています。
本製品をお使いいただく前に本書及び取扱説明書をよくお読みいただき、内容を理解して正しくお使いください。
また、お読みになった後も本書及び取扱説明書を製品に近接して、いつもお手元に置いて下さい。

お願い

- 本書および取扱説明書の内容が理解できるまで、本製品をご使用にならないでください。
- 本製品を貸したり、譲渡する時は本書及び取扱説明書を本製品に添付してお渡してください。
- 本書および取扱説明書、また安全銘板を紛失または損傷された場合は、速やかに当社の特約店または販売店にご注文ください。
- ご不明なことやお気づきのことがございましたら、お買い上げいただいた特約店・販売店・JAへご相談ください。

おことわり

- 本製品は改良のため、使用部品などを変更することがあります。その際には、本書および取扱説明書の内容および写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本書および取扱説明書の内容には、作成にあたり万全を期しておりますが、万一の誤りや記載もれなどが発見されてもただちに修正できないことがあります。

保証とサービスについて

保証書は大切に保管して下さい

「保証書」はお客様が保証修理を受けられる際に必要となるものです。
お読みになった後は大切に保管して下さい。

アフターサービスをお受けになるときは

機械の調子が悪い場合に、点検調整をしてもなお不具合がある時は、下記の点を明確にしてお買い上げいただいた特約店・販売店・JAまでご連絡下さい。

連絡していただきたい内容

- 型式名
- ご使用状況は？
- 何速でどんな作業をしていた時に
- どのくらい使用されましたか？
- 不具合が発生した時の状況をできるだけ詳しく教えて下さい

補修部品の供給年限について

この製品の補修部品の供給年限(期間)は、製造打ち切り後9年です。
ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などを相談させていただく場合もあります。
補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、要請があった場合には納期および価格についてご相談させていただきます。

本製品の使用目的について

本製品は指定された肥料および作物の種子を畑に、施肥・播種する作業機です。
作業機にあったトラクターおよびロータリーに装着して使用します。
使用目的以外の作業や改造などは、決してしないでください。
使用目的以外の作業や改造などをした場合は、保証の対象になりませんのでご注意ください。
(詳細は保証書をご覧ください)

本文中の説明記号の見方



危険

その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。



警告

その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。



注意

その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれがあるものを示します。

安全な作業をするために必ずお守りください

- ここに記載されている注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ず守ってください。
- ここに記載されている注意項目を守らないと、死亡を含む傷害や事故、機械の破損が生じるおそれがあります。

1. 作業者の体調・服装について

警告

■ こんな時は運転しない

- 過労・病気・薬物の影響、その他の理由により作業に集中できない時
- 酒を飲んだ時
- 妊娠している時
- 18歳未満の人

【守らないと】

思わぬ事故の原因になります。

■ 安全靴・作業帽・ヘルメット・つなぎなどの作業に適した服装をする

はち巻き・首巻き・腰タオルは禁止です。

【守らないと】

機械に巻き込まれたり、滑って転倒するおそれがあります。

2. 使用する機械について

警告

■ 使用する前には、必ず点検をおこなう

ロータリシーダを使用する時は、運転前・作業前点検をおこない、異常箇所は必ず整備してください。

【守らないと】

整備不良による事故、機械の故障を引き起こすおそれがあります。

■ トラクター本機およびロータリーの取扱説明書をよく読む

ロータリシーダを使用する時は、事前にトラクター本機およびロータリーの取扱説明書をよく読んで理解してください。

【守らないと】

死亡事故や重大な傷害、機械の破損を招くおそれがあります。

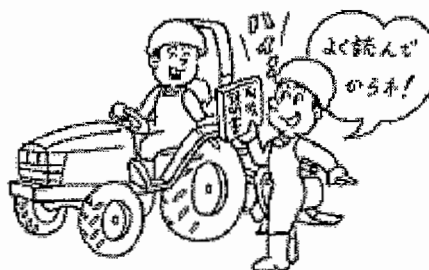
危険

■ 機械を人に貸す時は

取扱方法をよく説明し、使用前に本書および取扱説明書を必ず読むように指導してください。

【守らないと】

死亡事故や重大な傷害、機械の破損を招くおそれがあります。



■ 機械を改造しない

機械の改造や、指定以外のアタッチメントを装着しないでください。

【守らないと】

事故やケガ、機械の破損を招くおそれがあります。

■ 必ず定期点検整備を受ける

一年毎に定期点検整備を受け、各部の保守をおこなってください。

【守らないと】

整備不良による事故、機械の故障を引き起こすおそれがあります。



23HC078

安全な作業をするために必ずお守りください

3. 運転前・作業前点検、調整をするとき

⚠ 警告

■ 平坦で安定した場所でおこなう

点検は平坦で安定した場所で停止し、トラクターの油圧を下げ、作業機を地上に接地させ、駐車ブレーキをかけてエンジンを停止してからおこなってください。

やむなく作業機を持ち上げた状態で点検を実施するときは、トラクターのスローリターン・ストップバルブを締め、作業機の下に落下防止の台などを置いて安全に十分に配慮してください。

【守らないと】

死亡事故や重大な傷害、機械の破損を招くおそれがあります。

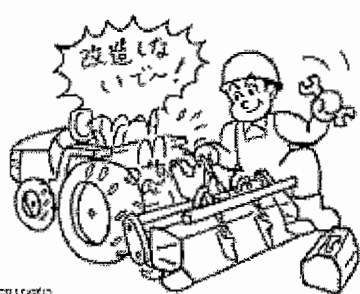


■ 改造禁止

純正部品や指定以外の部品を取り付けしないでください。

【守らないと】

機械の破損や事故の原因となります。



⚠ 注意

■ 取り外したカバー類は必ずつける

運転前・作業点検で取り外したカバー類は、必ず元どおりに取り付けてください。

【守らないと】

機械に巻き込まれたり、傷害事故の原因になります。

4. 運搬・運転するとき

⚠ 警告

■ 移動時はロータリーの爪を回転させたり、作業機を駆動させない

【守らないと】

爪や作業機に巻き込まれてケガを負うおそれがあります。

■ 急な発進・停止・旋回やスピードの出しすぎ禁止

発進停止はゆっくりおこなってください。旋回する時や、坂道、凸凹道、カーブの多いところでは十分に速度を落としてください。

【守らないと】

機械の破損や思わぬ事故の原因となります。

■ 後進する時には障害物に注意し、低速で移動する

後進は低速で移動し、転倒に十分注意してください。また、後ろに障害物がないか十分に確認し、接触や挟まれに注意してください。

【守らないと】

機械の破損や思わぬ事故の原因となります。

■ 坂道の途中では駐車禁止

【守らないと】

機械が動きだし、事故の原因になります。

■ 道路の端により過ぎないように注意

走行時は道路の端により過ぎないようにしてください。

【守らないと】

路肩が崩れ、横倒しになり傷害事故を引き起こすおそれがあります。

■ トラクターで公道走行時はロータリーシールド装着禁止

交通事故の原因となります。トラックなどにのせて移動してください。

【守らないと】

道路交通法違反です。事故を引き起こすおそれがあります。

安全な作業をするために必ずお守りください

▲ 警告

■ クレーンで吊る場合注意

バランスを崩さないように注意して吊り上げてください。

周囲に人を近づけないようにし、クレーン操作者も機械の下に立たないでください。

【守らないと】

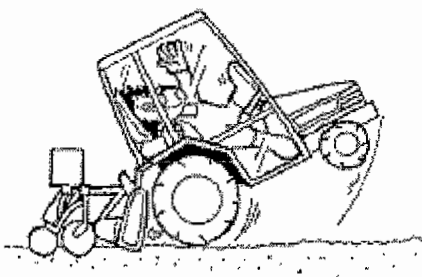
死亡や傷害事故、機械の破損を引き起こすおそれがあります。

■ 重量バランスを調整する

トラクターに装着して肥料や種子を入れた時、トラクター前部が浮いて操縦が困難になる時はトラクターの純正フロントウェイトを付加してバランスを調整してください。

【守らないと】

トラクターが転倒し、死亡や傷害事故、機械の破損を引き起こすおそれがあります。

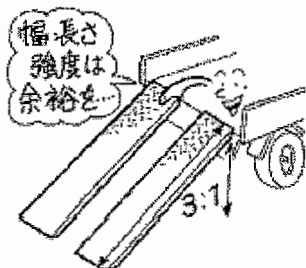


■ トラックへの積み下ろしをする時は長さ・強度・幅のあるアユミ板を使用

アユミ板は丈夫で滑り止めのある基準に合ったもので、トラックの荷台に設置した時に、傾斜角度が15度以下になる長さのものを使用してください。

【守らないと】

アユミ板が折れて転倒し、傷害事故を引き起こす原因になります。

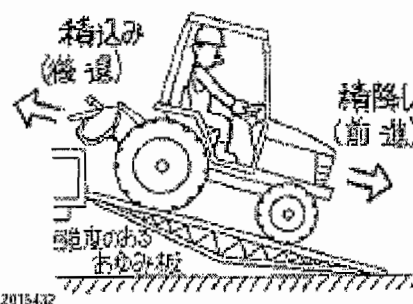


■ 登る時は後進、降りる時は前進で

トラックへの積み下ろしや、ほ場への出入りの際は、登る時は後進で、降りる時は前進でおこなってください。

【守らないと】

バランスを崩し、転倒事故などの事故の原因となります。



■ 機械をトラックヘロープで確実に固定する

丈夫なロープでトラックと確実に固定してください。

【守らないと】

運搬中に荷台から機械が転落し、事故を引き起こす原因となります。

▲ 注意

■ 積み込むトラックには、必ず輪留めをする

ロータリシーダを積み込むトラックはエンジンを停止し、変速を「P」または「1速」・「R」位置にいれ、駐車ブレーキをかけてタイヤに輪留めをしてください。

【守らないと】

トラックが動いて転落事故を引き起こすおそれがあります。

■ アユミ板の上では進路変更禁止

【守らないと】

バランスが崩れて、転落事故を引き起こすおそれがあります。

安全な作業をするために必ずお守りください

■ 積み下ろし作業は誘導者をつけておこなう

トラックへの積み下ろし作業は、補助者をつけて周囲の安全を十分に確認しながらおこなってください。

また、補助者は機械の直前・直後には立たないでください。

【守らないと】

転落事故を引き起こすおそれがあります。

■ ロータリシーダの肥料ホッパや種子ホッパは空の状態に移動する

【守らないと】

トラクターのバランスが崩れて転倒したり、路外逸脱することがあります。また、ホッパ内部で固着して繰り出しできなくなったり、破損するおそれがあります。

肥料や種子は作業をおこなう直前に入れてください。

5. 施肥・播種作業をするとき

▲ 警告

■ 作業中は絶対人を近づけない

作業をする時は周囲に充分注意を払い、特に子どもを近寄らせないでください。

【守らないと】

死亡事故や重大な傷害事故を引き起こすおそれがあります。

■ 重量バランスを調整する

トラクターに装着して肥料や種子を入れた時、トラクター前部が浮いて操縦が困難になる時はトラクターの純正フロントウェイトを付加してバランスを調整してください。

【守らないと】

トラクターが転倒し、死亡や傷害事故、機械の破損を引き起こすおそれがあります。

■ きょう雑物の引っ掛かりや肥料、種子の詰まりを取り除く場合はトラクターのエンジンを停止する

ロータリシーダをトラクターの油圧で持ち上げたまま作業する時は、作業機昇降用のスローリターン・ストップバルブをしめ、作業機の落下防止の台などを置いて、安全に十分配慮してください。

【守らないと】

機械に巻き込まれたり、傷害事故の原因となります。



6. 作業後の手入れ・格納をするとき

▲ 注意

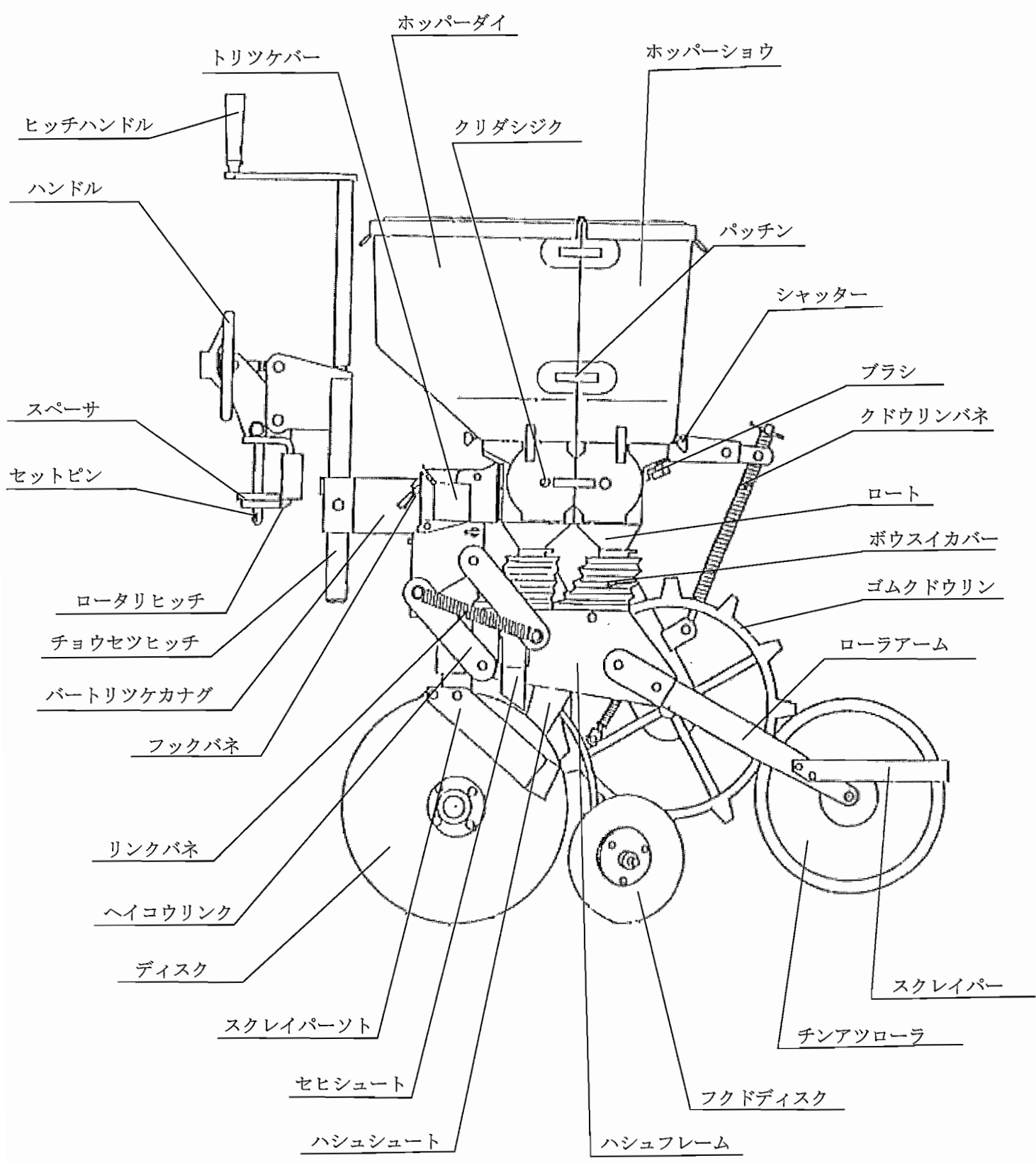
■ 作業終了後は点検整備・掃除をする

- 作業が終わったら必ず点検整備をおこない、残留肥料・種子を排出して掃除してください。
- 点検整備・掃除をする場合は、必ずトラクターのエンジンを停止し、駐車ブレーキをしてください。
- 長期保管の場合は乾燥した場所で保管してください。

【守らないと】

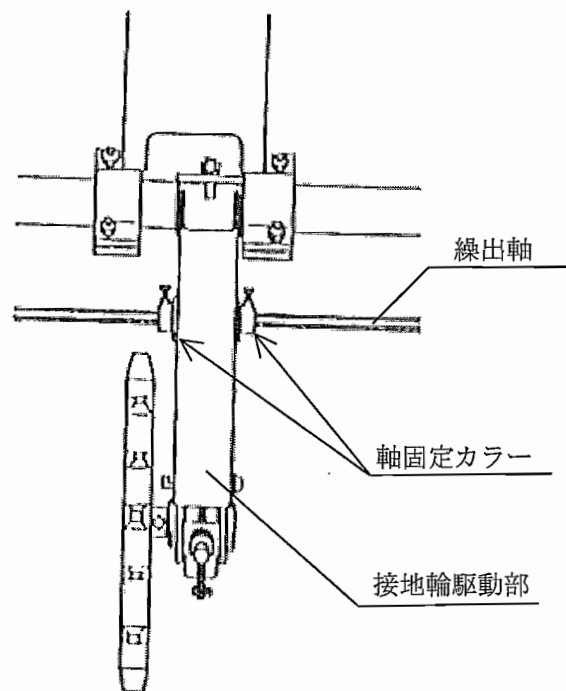
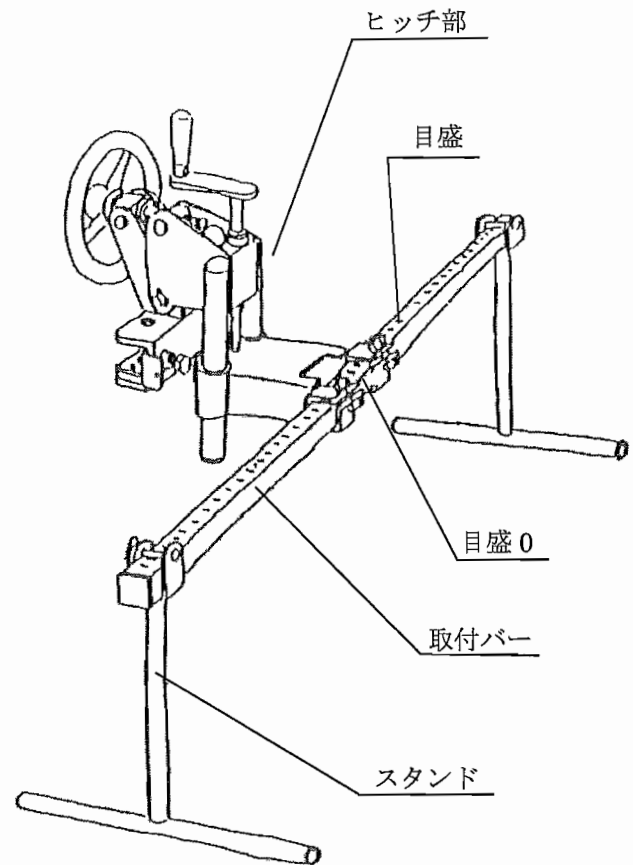
さび、腐食、破損の原因となり、機械の寿命を短くします。

1 各部の名称



2 組立要領

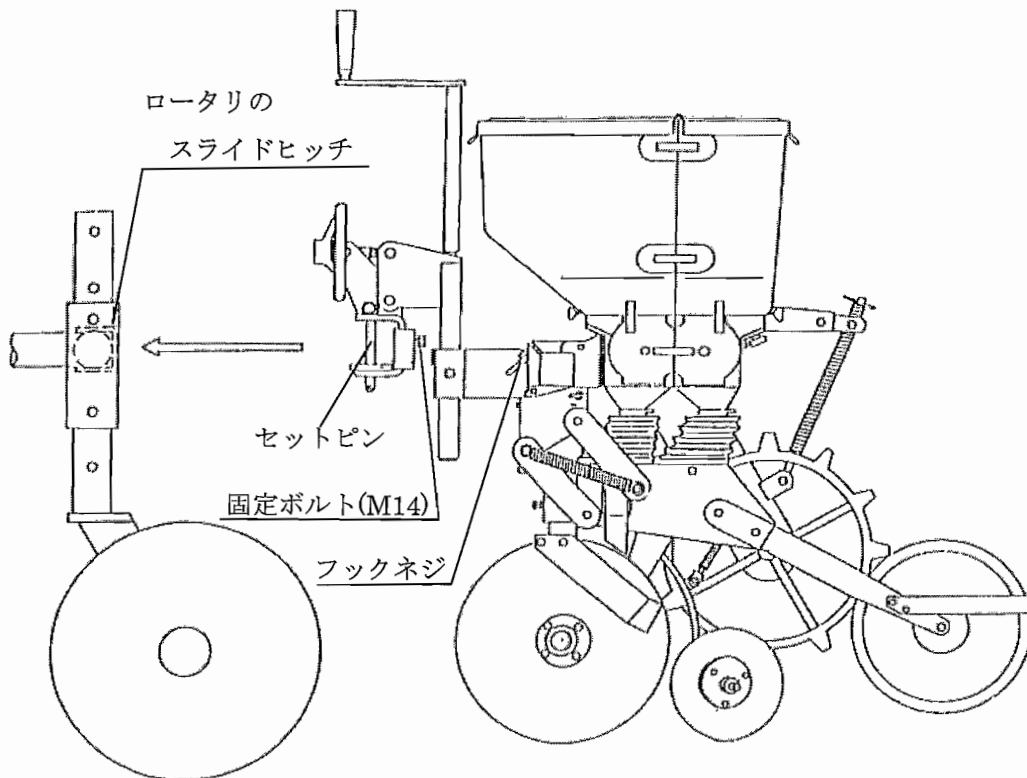
- ① まず取付バーの両サイドにスタンドをさし込み立てて下さい。この時、角パイプの目盛のある面を上にして下さい。
- ② 次に取付バーのセンター部（目盛0位置）にヒッチ部を取付けしっかりと締め込んで下さい。
- ③ 接地輪駆動部を取付しますが偶数条数（2条・4条・6条等）の場合は図の様にヒッチ部の切欠部右寄りに取付けて下さい。奇数条数の場合はセンター部にユニットを取付けますので刈り取り（コンバイン）等を考慮し取付け位置を決めて下さい。
- ④ ユニットの条間に合わせて取付けて下さい。
- ⑤ 最後に繰出軸をさし込んで下さい。その時チェーンケースの両サイドに軸固定カラーを入れて繰出軸が左右にずれない様ボルトで固定して下さい。
繰出軸は手で回しながらさし込んで下さい。無理やりさし込むと破損につながります。



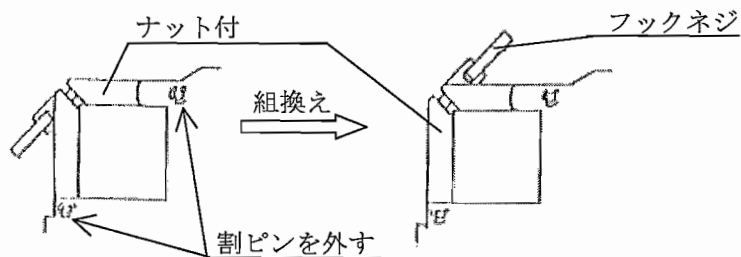
3 取付方法

1. トラクタへの装着

- ? 播種機を専用のスタンドに立て、セットピンをはずしておきます。
- ? ロータリのスライドヒッチに、セットピン2本で取付け固定ボルト (M14) にてしっかり固定して下さい。このときロータリはわずかに地上より上げておき、ロータリの尾輪ヒッチを上下させて高さを合わせて連結します。
- ? フックネジをゆるめ条間調節を行って下さい。締め付けはしっかりと行って下さい。フック部の曲りの原因となります。この際、取付バーに目盛がきざんでありますので、フック部ののぞき窓より目盛をたしかめることができます。



- ? 奇数条数 (3条・5条・7条等) の場合、センターに位置するユニットはフックネジの方向が図のようになるよう、フックイタを入れ換えて下さい。



4 作業前の準備

1. 始業点検

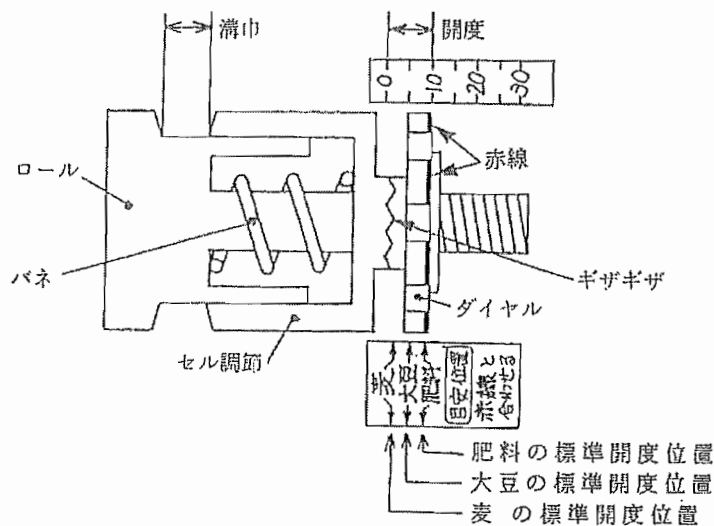
- ① 各部のボルト・ナットのゆるみ、脱落がないことを確認してください。
- ② 回転部等に注油し、スムーズに動くことを確認してください。
- ③ 種子は精選種子を用いて枝梗、小枝梗、芒などの混入がなく、石、金属片など異物が混入していないことを確認してください。
- ④ 肥料が湿ってないこと、固まりがないことを確認してください。

2. ブラシの調節

- ① ブラシはロールに接しない程度（隙間0～0.5mm）に均一にセットしてください。
- ② ブラシは消耗品ですから時々点検してください。磨耗した場合、繰出量が増えます。その場合は新品と取換えてください。

3. 繰出ロールの調節

繰出部のダイヤルを反時計方向にし、セル調節を横に引き出すと量は多くなります。ダイヤルの赤線と目盛を読み（開度）がロール本体の溝の大きさを表します。



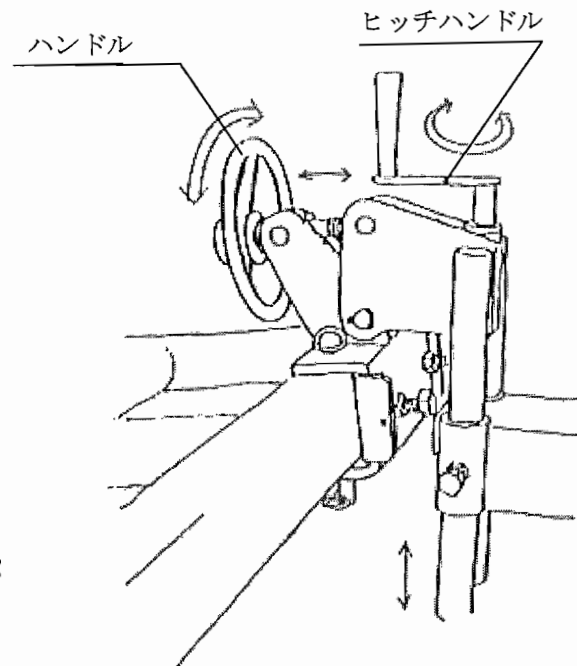
※ ダイヤル半回転で開度が1mm移動します。半回転でのダイヤルのギザギザは10山ありますので1山こえる毎に0.1mmの開度となります。貼マークでの開度合せは見る方向やロールのガタ等により不正確になりがちですから、いったん開度を「0」に閉じてダイヤルの回転数にて開度を合せるのが確実な方法です。多少面倒でもこの方法をお勧めします。

※ 肥料・種子を入れたままで「少」方向にダイヤルを回さないでください。

—以下圃場での仮作業にて調節を行って下さい。— (単独鎮圧タイプ)

1. 上下調節

ヒッチハンドルにて上下調節を行い、ユニットの平行リンクによる上下動の中程で作業が行える様調節して下さい。圃場の凹凸に追従し、播種深さを一定にする為です。調節後左右のセットボルトにて固定して下さい。

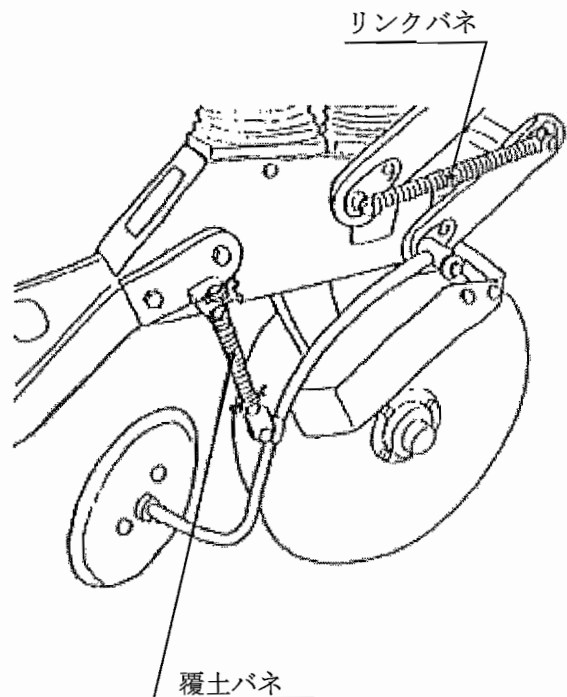


2. 播種深さの調節

ハンドルを回して角度を変えることにより播種深さの調節ができます。ハンドル1回転で約1cm 変わり、ホッパー上面が水平となる程度が標準です。また各条毎の播種深さの違いはディスクスターを固定しているボルトをゆるめて調節して下さい。

3. 覆土量の調節

覆土バネの下側のスナップピンの位置を変更することで、覆土量の調節ができます。(バネの加圧力を調節する) 下側の穴が標準です。



4. 鎮圧ローラの加圧調節


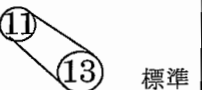
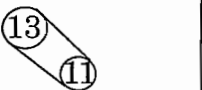
平行リンクの両側に2本のリングバネがありますが鎮圧力が強すぎる場合(湿田や、やわらかい圃場等)は、どちらか一方のバネを取外して使用して下さい。

播種施肥量の調節

MRX（黒ロール）播種量・施肥量の調節

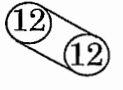
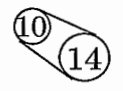
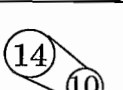
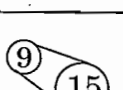
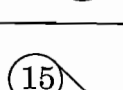
（注意）スプロケットの組み合わせにより、播種量・施肥量が異なります。

繰出間隔は、チェーンケースのスプロケットにより決まります。標準では、13 歯、11 歯のものが各 1 枚ずつ装着されています。下記の表を参考に組み換えて下さい。

繰出軸側 	株 間	備 考
	14cm	麦 この場合のみ播種量及び施肥量の目安表が御利用できます。
	19cm	大豆 目安表の数値より、施肥播種量が コーン 30%少なくなります。

—— オプション（別売り） ——

その他に下記のスプロケットを用意しておりますので、各販売店にて御購入下さい。チェーンは標準品（22 リンク）がそのまま使用できます。

	16 cm	目安表の数値より、施肥播種量が 5%多くなります。
	12 cm	目安表の数値より、施肥播種量が 40%多くなります。
	22 cm	目安表の数値より、施肥播種量が 25%少なくなります。
	10 cm	目安表の数値より、施肥播種量が 70%多くなります。
	26 cm	目安表の数値より、施肥播種量が 35%少なくなります。

注意 土質・作業速度によって間隔が延びる場合があります。

① **大豆の播種量の目安** : 10ヶ溝 (黒色ロール)

播種量は、ロール開度によって、1点何粒か決まります

(1) 大豆中粒 (100粒重 30g) の場合

開度 4 で 1 点 1 粒

開度 11 で 1 点 2 粒

(2) 大豆小粒 (100粒重 24g) の場合

開度 3 で 1 点 1 粒

開度 7 で 1 点 2 粒

※ ベンレートT等を大豆にまぶした場合は、目安より少し開度を多めにして
ください。又、時々ロール溝をきれいにして下さい。

注意 ブラシは消耗品ですから、時々点検して下さい。特に大豆・コーンに使用する場合は磨耗が早いので 1~3 mm程度ブラシをロールより離れた方が長持ちするでしょう。予備のブラシを用意しておく方が安心です。

(3) 大豆播種量の目安表

大豆(100粒重 30g)の場合

(kg/10a)

株間 \ 条間		60cm	65cm	70cm	75cm	80cm	85cm	90cm
		1点2粒	10cm	10.0	9.2	8.6	8.0	7.5
	12cm	8.3	7.7	7.1	6.7	6.3	5.9	5.6
	14cm 出荷時	7.1	6.6	6.1	5.7	5.4	5.0	4.8
	16cm	6.3	5.8	5.4	5.0	4.7	4.4	4.2
	19cm ※	5.3	4.9	4.5	4.2	3.9	3.7	3.5
	22cm	4.5	4.2	3.9	3.6	3.4	3.2	3.0
	26cm	3.8	3.6	3.3	3.1	2.9	2.7	2.6
1点1粒	10cm	5.0	4.6	4.3	4.0	3.8	3.5	3.3
	12cm	4.2	3.8	3.6	3.3	3.1	2.9	2.8
	14cm 出荷時	3.6	3.3	3.1	2.9	2.7	2.5	2.4
	16cm	3.1	2.9	2.7	2.5	2.3	2.2	2.1
	19cm ※	2.6	2.4	2.3	2.1	2.0	1.9	1.8
	22cm	2.3	2.1	1.9	1.8	1.7	1.6	1.5
	26cm	1.9	1.8	1.6	1.5	1.4	1.4	1.3

注) 上記表は、あくまでも目安として御利用下さい。※出荷時のスプロケットを入れ替えた場合

大豆(100粒重 24g)の場合

(kg/10a)

株間 \ 条間		60cm	65cm	70cm	75cm	80cm	85cm	90cm
		1点2粒	10cm	8.0	7.4	6.9	6.4	6.0
	12cm	6.7	6.2	5.7	5.3	5.0	4.7	4.4
	14cm 出荷時	5.7	5.3	4.9	4.6	4.3	4.0	3.8
	16cm	5.0	4.6	4.3	4.0	3.8	3.5	3.3
	19cm ※	4.2	3.9	3.6	3.4	3.2	3.0	2.8
	22cm	3.6	3.4	3.1	2.9	2.7	2.6	2.4
	26cm	3.1	2.8	2.6	2.5	2.3	2.2	2.1
1点1粒	10cm	4.0	3.7	3.4	3.2	3.0	2.8	2.7
	12cm	3.3	3.1	2.9	2.7	2.5	2.4	2.2
	14cm 出荷時	2.9	2.6	2.4	2.3	2.1	2.0	1.9
	16cm	2.5	2.3	2.1	2.0	1.9	1.8	1.7
	19cm ※	2.1	1.9	1.8	1.7	1.6	1.5	1.4
	22cm	1.8	1.7	1.6	1.5	1.4	1.3	1.2
	26cm	1.5	1.4	1.3	1.2	1.2	1.1	1.0

注) 上記表は、あくまでも目安として御利用下さい。※出荷時のスプロケットを入れ替えた場合

② 小麦・大麦の播種量の目安表

: 10ヶ溝 (黒色ロール), 繰出ロール開度mm, $\left[\begin{array}{l} \text{小麦の比重 } 0.77 \text{ kg/リットル} \\ \text{大麦の比重 } 0.67 \text{ kg/リットル} \end{array} \right]$ の場合

(1) スプロケット $\textcircled{11}$ $\textcircled{13}$ の場合

単位: 開度(mm)

種類	播種量kg/10a 平均条間cm	6	7	8	9	10	11	12	13	14
		B A								
小麦	20	0.7	1.0	1.3	1.7	2.0	2.4	2.7	3.1	3.4
	25	1.2	1.6	2.0	2.5	2.9	3.3	3.7	4.2	4.6
	30	1.7	2.2	2.7	3.2	3.7	4.2	4.8	5.3	5.8
	35	2.2	2.8	3.4	4.0	4.6	5.2	5.8	6.4	7.0
大麦	20	1.0	1.4	1.7	2.1	2.5	2.9	3.3	3.7	4.1
	25	1.6	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.5
	30	2.1	2.7	3.3	3.9	4.5	5.1	5.7	6.3	6.9
	35	2.7	3.4	4.1	4.8	5.5	6.2	6.9	7.6	8.2

注) 上記表は、あくまでも目安として御利用下さい。

(2) スプロケット $\textcircled{13}$ $\textcircled{11}$ の場合

単位: 開度(mm)

種類	播種量kg/10a 平均条間cm	6	7	8	9	10	11	12	13	14
		B A								
小麦	20	1.5	1.9	2.4	2.9	3.4	3.9	4.3	4.8	5.3
	25	2.2	2.8	3.4	4.0	4.6	5.2	5.8	6.4	7.0
	30	2.9	3.6	4.3	5.1	5.8	6.5	7.2	7.9	8.6
	35	3.6	4.5	5.3	6.1	7.0	7.8	8.6	9.5	10.3
大麦	20	1.9	2.4	3.0	3.5	4.1	4.6	5.2	5.7	6.3
	25	2.7	3.4	4.1	4.8	5.5	6.2	6.8	7.5	8.2
	30	3.5	4.4	5.2	6.0	6.8	7.7	8.5	9.3	10.1
	35	4.4	5.3	6.3	7.3	8.2	9.2	10.1	11.1	12.1

注) 上記表は、あくまでも目安として御利用下さい。

※ 計算にて開度を求めたい場合は、下記の計算式を御利用下さい。



繰出軸側 接地輪側

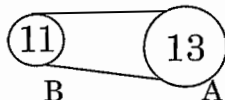
$$(\text{開度mm}) = \frac{(\text{播種量kg/10a}) \times (\text{平均条間cm} \times 10) \times (\text{スプロケット B の歯数})}{(\text{比重kg/リットル}) \times 642 \times (\text{スプロケット A の歯数})} - 1.4$$

注) 上記の計算式は、あくまでも目安として御利用下さい。

③ そば播種量の目安表

※ 接地輪駆動でそばの比重 0.60 (kg/ℓ) の場合

(1) スプロケット



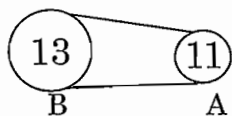
の場合

単位：開度(mm)

播種量kg/10a	2	3	4	5	6	7	8	9	10
平均条間cm									
20			0.4	0.8	1.2	1.7	2.1	2.6	3.0
25		0.2	0.8	1.3	1.9	2.4	3.0	3.5	4.1
30		0.6	1.2	1.9	2.6	3.2	3.9	4.5	5.2
35	0.1	0.9	1.7	2.4	3.2	4.0	4.8	5.5	6.3
40	0.4	1.2	2.1	3.0	3.9	4.8	5.6	6.5	7.4
45	0.6	1.6	2.6	3.5	4.5	5.5	6.5	7.5	8.5
50	0.8	1.9	3.0	4.1	5.2	6.3	7.4	8.5	9.6
55	1.0	2.2	3.4	4.6	5.8	7.1	8.3	9.5	10.7
60	1.2	2.6	3.9	5.2	6.5	7.8	9.1	10.5	11.8

注) 上記表は、あくまでも目安として御利用下さい。

(2) スプロケット



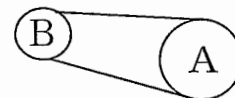
の場合

単位：開度(mm)

播種量kg/10a	2	3	4	5	6	7	8	9	10
平均条間cm									
20		0.4	1.1	1.7	2.3	2.9	3.5	4.1	4.7
25		0.9	1.7	2.4	3.2	4.0	4.7	5.5	6.3
30	0.4	1.4	2.3	3.2	4.1	5.0	6.0	6.9	7.8
35	0.7	1.8	2.9	4.0	5.0	6.1	7.2	8.3	9.3
40	1.1	2.3	3.5	4.7	6.0	7.2	8.4	9.6	10.9
45	1.4	2.7	4.1	5.5	6.9	8.3	9.6	11.0	12.4
50	1.7	3.2	4.7	6.3	7.8	9.3	10.9	12.4	13.9
55	2.0	3.7	5.3	7.0	8.7	10.4	12.1	13.8	15.5
60	2.3	4.1	6.0	7.8	9.6	11.5	13.3	15.2	17.0

注) 上記表は、あくまでも目安として御利用下さい。

※ 計算にて開度を求めたい場合は、下記の計算式を御利用下さい。



繰出軸側

接地輪側

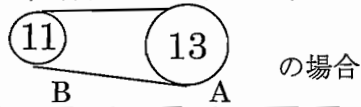
$$(\text{開度mm}) = \frac{(\text{播種量kg/10a}) \times (\text{平均条間cm} \times 10) \times (\text{スプロケット B の歯数})}{(\text{比重kg/ℓ}) \times 642 \times (\text{スプロケット A の歯数})} - 1.4$$

注) 上記の計算式は、あくまでも目安として御利用下さい。

④ ソルゴー播種量の目安表

: 10ヶ溝 (黒色ロール), 繰出ロール開度mm, ソルゴーの比重 0.72 kg/斗の場合

(1) スプロケット



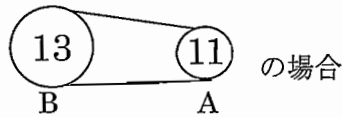
の場合

単位: 開度(mm)

播種量kg/10a 平均条間cm	2	3	4	5	6	7	8	9	10
60	0.8	1.9	3.0	4.1	5.2	6.3	7.4	8.5	9.6
70	1.2	2.4	3.7	5.0	6.3	7.6	8.9	10.1	11.4
80	1.5	3.0	4.5	5.9	7.4	8.9	10.3	11.8	13.2
90	1.9	3.5	5.2	6.8	8.5	10.1	11.8	13.4	15.1

注) 上記表は、あくまでも目安として御利用下さい。

(3) スプロケット



の場合

単位: 開度(mm)

播種量kg/10a 平均条間cm	2	3	4	5	6	7	8	9	10
60	1.7	3.2	4.7	6.3	7.8	9.3	10.9	12.4	13.9
70	2.2	4.0	5.8	7.5	9.3	11.1	12.9	14.7	16.5
80	2.7	4.7	6.8	8.8	10.9	12.9	15.0	17.0	19.1
90	3.2	5.5	7.8	10.1	12.4	14.7	17.0	19.3	21.6

注) 上記表は、あくまでも目安として御利用下さい。

※ 計算にて開度を求めたい場合は、下記の計算式を御利用下さい。



繰出軸側

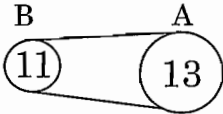
接地輪側

$$(\text{開度mm}) = \frac{(\text{播種量kg/10a}) \times (\text{平均条間cm} \times 10) \times (\text{スプロケットBの歯数})}{(\text{比重kg/斗}) \times 642 \times (\text{スプロケットAの歯数})} - 1.4$$

注) 上記の計算式は、あくまでも目安として御利用下さい。

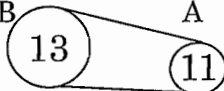
⑤ 施肥量の目安表

: 8ヶ溝 (白色ロール), 繰出ロール開度mm, 肥料の比重 1.0 kg/ℓ の場合

(1) スプロケット  の場合 単位: 開度(mm)

施肥量kg/10a \ 平均条間cm	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80
20	3.8	4.9	6.0	7.0	8.1	9.1	10.2	11.3	12.3	13.4	14.5	15.5
25	5.2	6.5	7.8	9.1	10.5	11.8	13.1	14.5	15.8	17.1	18.5	19.8
30	6.5	8.1	9.7	11.3	12.9	14.5	16.1	17.7	19.3	20.9	22.4	24.0
35	7.8	9.7	11.5	13.4	15.3	17.1	19.0	20.9	22.7	24.6	26.4	28.3
40	9.1	11.3	13.4	15.5	17.7	19.8	21.9	24.0	26.2	28.3	—	—
60	14.5	17.7	20.9	24.0	27.2	—	—	—	—	—	—	—
70	17.1	20.9	24.6	28.3	—	—	—	—	—	—	—	—
80	19.8	24.0	28.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—

注) 上記表は、あくまでも目安として御利用下さい。

(2) スプロケット  の場合 単位: 開度(mm)

施肥量kg/10a \ 平均条間cm	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80
20	5.9	7.4	8.9	10.4	11.9	13.4	14.9	16.3	17.8	19.3	20.8	22.3
25	7.8	9.6	11.5	13.4	15.2	17.1	18.9	20.8	22.7	24.5	26.4	28.2
30	9.6	11.9	14.1	16.3	18.6	20.8	23.0	25.3	27.5	29.7	—	—
35	11.5	14.1	16.7	19.3	21.9	24.5	27.1	29.7	—	—	—	—
40	13.4	16.3	19.3	22.3	25.3	28.2	—	—	—	—	—	—
60	20.8	25.3	29.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
70	24.5	29.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
80	28.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

注) 上記表は、あくまでも目安として御利用下さい。

※ 計算にて開度を求めたい場合は、下記の計算式を御利用下さい。

肥料 : 8ヶ溝 (白色ロール)

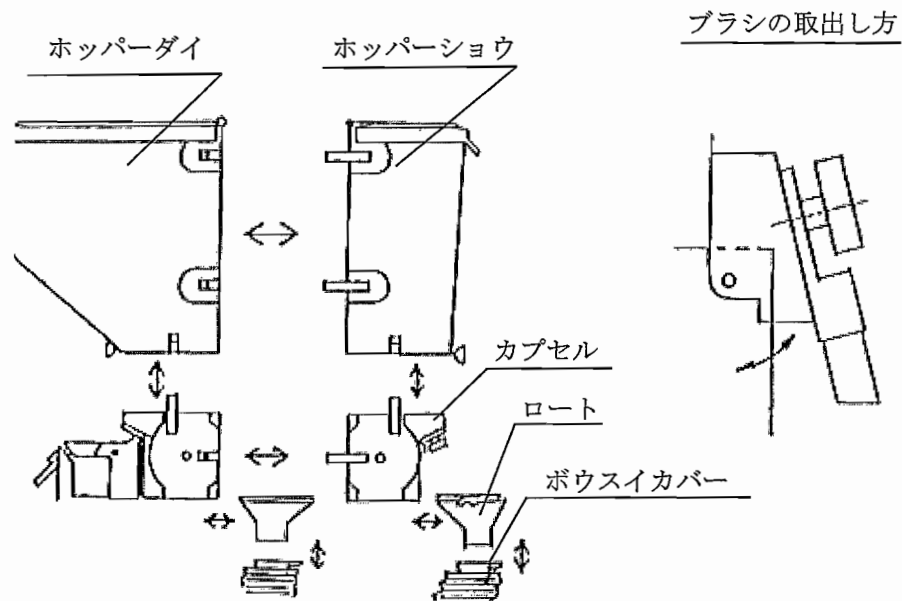


$$(\text{開度mm}) = \frac{(\text{施肥量kg/10a}) \times (\text{平均条間cm} \times 10) \times (\text{スプロケット B の歯数})}{(\text{比重kg/ℓ}) \times 795 \times (\text{スプロケット A の歯数})} - 1.5$$

注) 上記の計算式は、あくまでも目安として御利用下さい。

5 保守点検

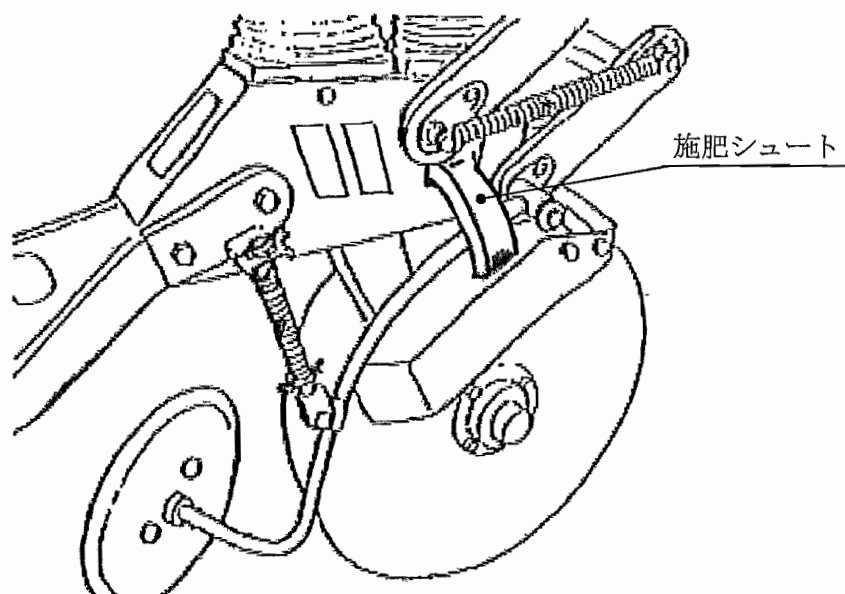
1. 工具無しで、下図の部分が分解できます。ホッパーを取除きますと、ブラシも下図の様に取出しができます。保守点検に役立てて下さい。組立時には、パッチンが所定の位置で固定されているかどうか確認して下さい。



2. 作業終了後、ホッパー内の種子・肥料を完全に排除し、洗浄して下さい。
3. カプセル内のゴミを取除いて下さい。
4. 回転部等には、注油して下さい。ただし、ロールの溝部には注油しないで下さい。

注意事項

- ・ 作業開始後、肥料・種子が設定量落下しているか確認して下さい。また、減り具合にバラツキがないか確認して下さい。
- ・ 旋回時には播種機に十分注意をはらい、畦等につけないようにして下さい。また、バックの必要があるときは、必ずロータリを上げて下さい。故障の原因となります。
- ・ 路面の凹凸の激しい所などを走行するときは、スピードを遅くしてショックを与えないようにして下さい。また、ロータリの上げ下ろしはあまり激しく行わないよう油圧のバルブを調節して下さい。フレーム等の曲りの原因になります。
- ・ ロールの開度調節は、なるべく肥料や種子を入れずに行って下さい。やむをえず肥料や種子を入れて調節しなければならないときは、小さな開度から広げるようにして下さい。決して肥料や種子を入れたまま、開度を小さくするような事はしないで下さい。
- ・ ホッパーは強化プラスチックを使用しておりますが、取扱いには十分注意して下さい。
- ・ 大豆播種の場合、肥料障害を避けるため下図の様に「施肥シュート」を進行方向に対し右側に取り付け直すことをお勧めします。



重要

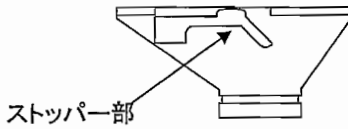
肥料散布についての注意事項

右図の斜線の場所には、肥料の粉が付着しやすいので、1日の作業が終了したら点検し、掃除を行ってください。湿度の高い日は、付着が急激に多くなり、つまりの発生が考えられますので、特に注意が必要です。

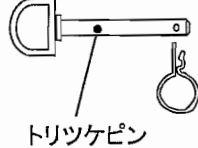
掃除の方法

① ロート部の掃除

ロートのストッパー部を軽く下げ、後方にスライドさせ、種子側として肥料側の順に取り外します。この時、ストッパー部を強く押し下げると変形してしまうので、注意してください。



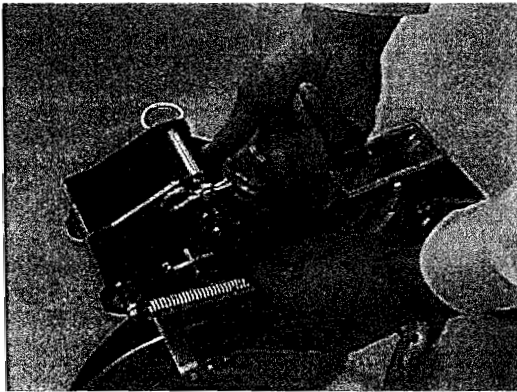
ストッパー部



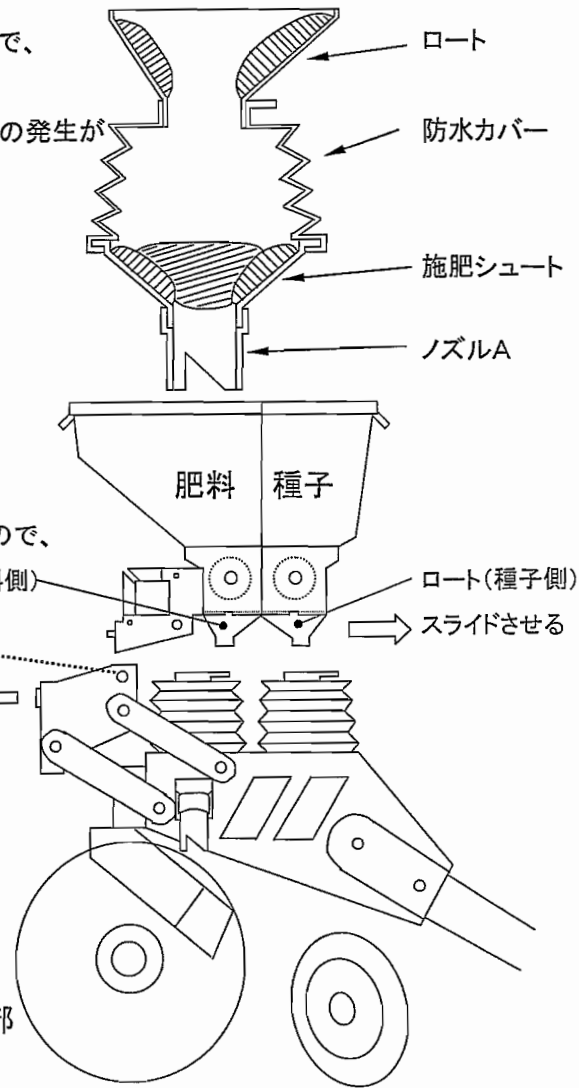
トリツケピン

② 施肥シュート部の掃除

トリツケピンを抜き、少し前方にずらし、接地部(地面に着いて上下する部分)を取り外すと、施肥シュート部の掃除が楽に行えます。



接地部

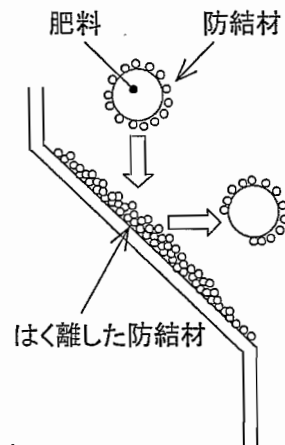


防水カバー(蛇腹形状)を取り外した場合、取り付けの方法としては、ひとさし指を防水カバーの内側に入れ、前側の角を先に引っ掛けてから、後側の角にかぶせる様になると、比較的取り付けやすくなります。

豆知識

肥料の粒と粒がくっつかない様に、粒の表面には**防結材**(固結防止材)と呼ばれる**粉剤**がまぶされています。タルクやシリカ等の粉剤を使用するが多く、機械で散布する場合は、肥料の通過する部分に、この粉がはく離して**付着**したり、**溜ま**ったりして、問題を引き起こす場合があります。この粉は**吸湿性**が高いため、**湿度の高い日**には**特に注意**が必要です。

これらの防結材は、肥料の種類によっても大きく異なります。手で触ってみて、手の表面全体に薄っすらと粉が付着するものは、防結材の量が比較的多く、機械への付着の量も多いので、**早めに点検**してください。



製造元：アグリテクノ矢崎株式会社

〒670-0996
兵庫県姫路市土山6丁目5番12号

TEL 079-295-1996
FAX 079-295-1997

部品番号	3P54200030N1	発行	2010年7月
------	--------------	----	---------



送付案内

松山株式会社 御中

吉村 様

いつもお世話になっております。

MRXの取扱説明書を送付します。

ご確認宜しく申し上げます。